

中世文芸の地方史

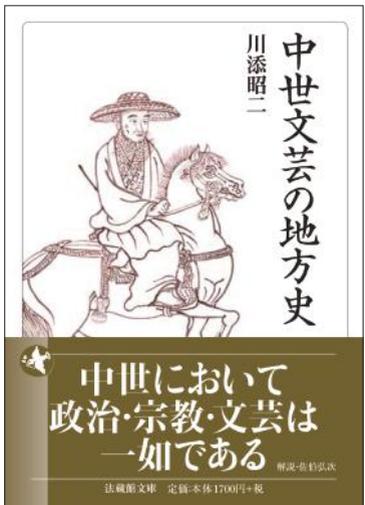
日本史・中世

かわぞえしやうじ

さえぎ こうじ

川添昭二著、佐伯弘次解説 ▼文庫判・並製カバー・472頁・定価一、八七〇円

2024年9月刊行



中世九州を舞台に、中世文芸の社会的あり方を「政治」との関係から追究。政治・宗教・文芸が一体をなす中世社会の様相を明らかにする。

【目次】

序章 政治・宗教・文芸

第一章 大宰府の宮廷文化

- 一 大宰府官人と天満宮安楽寺
- 二 年中行事の移入
- 三 宗教行事の移入
- 四 平安貴族の道真崇拜

第二章 神祇文芸と鎮西探題歌壇

- 一 法業連歌と託宣連歌
- 二 菅公説話と大江匡房
- 三 天満宮安楽寺と蒙古襲来
- 四 鎮西探題歌壇の形成

第三章 蒙古襲来と中世文芸

- 一 蒙古襲来に取材した文芸作品
- 二 神戦
- 三 軍忠状としての『八幡愚童訓』

第四章 今川了俊の教養形成

- 一 父・今川範国
- 二 師・京極為基
- 三 兼好・師・冷泉為秀
- 四 師・二条良基

第五章 九州探題今川了俊の文芸活動

- 一 南北朝期の大宰府と文芸
- 二 九州下向前後
- 三 京都・九州・大陸
- 四 晩年の述作活動

第六章 連歌師朝山梵灯の政治活動

- 一 将軍足利義満の近習
- 二 出家行脚と上使下向

第七章 巡歴の歌人正広と受容層

- 一 大内教弘の時代
- 二 守護領国下の巡歴

第八章 宗祇の見た九州

- 一 大内政弘の社寺対策
- 二 領国支配と連歌
- 三 『筑紫道記』にみる支配機構
- 四 連歌神参詣
- 五 菊池氏と相良氏
- 六 宗祇と薩摩

第九章 九州文芸の展開

- 一 天満宮炎上と飛梅伝説
- 二 宗碩の九州巡歴
- 三 貴族と国人の文化交流

第十章 大宰大貳大内義隆

- 一 実隆・宗碩・国人
- 二 月次祈禱連歌
- 三 筥崎宮の奉納和歌

あとがき
解説(佐伯弘次)

◆著者・解説者略歴

川添昭二(かわぞえしやうじ)

一九二七年佐賀県に生まれる。九州大学文学部教授、福岡大学人文学部教授を歴任。九州大学名誉教授。専門は日本中世史。二〇一八年没。

著書に『今川了俊』、『北条時宗』(以上、吉川弘文館)、『注解元寇防塁編年史料——異国警固番役史料の研究』(福岡県教育委員会)、『蒙古襲来研究史論』、『雄山閣』、『中世九州の政治と文化』、『対外関係の史的展開』(以上、文献出版)、『中世九州地域史料の研究』(法政大学出版局)、『日蓮と鎌倉文化』(平楽寺書店)、『菊池武光』(戎光祥出版)など多数。

佐伯弘次(さえぎ こうじ)

一九五五年生まれ。九州大学大学院文学研究科博士後期課程中途退学。専門は日本中世史。九州大学大学院人文学部研究科教授を経て、現在同大学名誉教授。主な著書に『モンゴル襲来の衝撃』(中央公論新社)、『対馬と海峽の中世史』(山川出版社)、『中世都市博多を掘る』(共編海鳥社)、『中世の対馬——ヒト・モノ・文化の描き出す日朝交流史』(編著、勉誠出版)などがある。

注文書	
(書店印)	
ご担当	様冊
川添昭二著、佐伯弘次解説 中世文芸の地方史 【法蔵館文庫】	
ISBN : 978-4-8318-2677-0 C1121	定価 一、八七〇円
お名前	住所
お電話	

ご注文はFAX:075-371-0458

法蔵館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458
http://www.hozokan.co.jp info@hozokan.co.jp